



幸楽園便り

発行責任者
社会福祉法人 幸楽会
飯塚喜弘
018-870-2224
【2020年 春号】



百賀のお祝い

今年 100 歳を迎えられます土田タエ様を
皆さんでお祝いしました。おめでとうございます。

令和新時代、楽園の更なる進化を



副理事長 渡辺良雄

令和初の新年は、大寒になっても温暖で雪もなく過ごし易い日が続いていますが、幸楽園に関係する皆様には健やかに過ごしのこととお喜び申し上げます。

さて、新年早々の異常ともいえる天候と内外を揺るがす不穏な出来事に不安も感じられますが、今年は十二支の始まりである子年（ねどし）であります。しかも、昔の数え方の十干（じっかん）との組み合わせでは庚子（かのえね）年とされます。この庚には物事が結実した後、自ずと新しい物に改まっていくという意味と共に、子（ね）の新たな息吹と繁栄が始まる意味が重なり、縁起が良いとされることから期待が持たれます。

その点で今年の期待と言えば、開催まで二〇〇日を切った東京オリンピック・パラリンピックです。五十六年前、戦後日本の復興を世界に発信、選手の大活躍と共に経済大国へと歩む高度経済成長の原点ともされた歴史の大会は、今も記憶に残ります。まさに夢の再来を期待しています。すでに着々と進む準備と共に、メディア番組などから気運は醸成されつつあると感じられます。皆がスポーツマンシップで臨む選手に拍手し、スポーツが生むドラマに感動し、それが明日への活力になればと願っています。

しかし、現実には急速に進行する少子高齢化や人口減少問題に起因する年金、医療、介護等の政治と持続可能で豊かで安定した社会の実現等々、時代的背景が、前回オリンピックと真逆の厳しい状況にあります。そうした中、時代に即した政策として介護保険法が導入されて以来二十年、導入当時、家族介護から社会全体で支える介護システムは、負担の問題から議論された経緯もありますが、今日の社会に定着したと理解しております。従って施設待機者の問題も含めて介護保険利用者の介護とサービス体制の更なる充実が今日の課題と考えています。幸楽園としては、特別養護老人ホームを含め、各事業を通じて社会的使命と役割を再認識しつつ、利用者が令和の時代を安心して利用し続けて行く為、役職員がスクラムを組み、名実共に楽園であるよう、さらなる進化を目指して参りますので今年もよろしくお願ひします。

社会福祉法人 幸楽会

〒010-0136 秋田市上新城中字片野4番地

特別養護老人ホーム幸楽園 ☎018-870-2224
ショートステイ幸楽園 ☎018-870-2227
幸楽園在宅介護支援センター ☎018-870-2226

幸楽園居宅介護支援事業所 ☎018-870-2226
幸楽園訪問介護ステーション ☎018-827-7566

外旭川デイサービスセンター幸 〒010-0802 秋田市外旭川字鳥谷場136 ☎018-868-5415

幸楽園ぬくもり写真館

クリスマス会



サンタクロースからのプレゼント。メリークリスマス！



敬老会



おめでとうございます。



きれいでしょ！？



美味しいね！

皆さんの笑顔



とってもいい笑顔ですね。これからもたくさんの笑顔をお届けください。



ショートステイ 幸楽園ほっと通信

ご利用者の皆様が、安心して楽しく安全に過ごしていただけますようお手伝いいたします。



新春初笑



クリスマス会



敬老会



幸楽園居宅介護支援事業所

幸楽園在宅介護支援センター

〈あなたの入浴方法は大丈夫!?〉

まだ寒い時期が続きますね。11月から4月はヒートショック（急激な温度変化により起こる身体へのショック）による高齢者の入浴事故が多く、注意が必要です。家族がいる時や日中に入浴する・浴室や脱衣所を温める・お湯の温度は41度以下に設定・入浴前後の水分補給（コップ一杯が目安）・入浴時間は10分以内にするのが大切です。ご高齢者は一声かけてから入浴し、入浴中は家族や周囲の人がこまめに声をかけましょう。

お一人での入浴が不安、ご自宅の浴室環境について相談したいなど、お困りのことがありましたら、お気軽にご相談ください。

介護や生活に関するお問い合わせは ☎018-870-2226 へご連絡下さい。

幸楽園訪問介護ステーション

住み慣れたご自宅で、安心して暮らしていただけるように身体介護や調理・掃除・洗濯・買い物などの生活援助を行います。要介護のご利用者には、訪問介護サービスを提供しております。要支援のご利用者と基本チェックリストを受けて生活機能の低下がみられたご利用者には、総合事業にて訪問型独自サービスや訪問型サービスAを提供しております。皆さんの笑顔がヘルパーの励みです。

ご利用については ☎018-827-7566 担当：梅崎・松山までお電話下さい。

外旭川デイサービスセンター幸

さまざまな活動を楽しんでいただきました。是非、お気軽にご体験ください。☎018-868-5415 橋本・堀井まで

機能訓練



演芸会



歌会



生け花



笑顔😊をひきだす食事

季節を感じられる食材使用とメニューで、食事を楽しんでいただきたいと思います。



～お正月メニュー～

今年は暖冬ということで、雪の少ないお正月を迎えられました。

「水分補給」「脱水」と言えば、夏と思いがちですが、暖房の効いた室内では空気の乾燥により水分は失われやすく、また、夏に比べ喉の渇きを感じにくい、汗をかいている実感もない、などで水分摂取が少なくなってしまうがちです。

風邪など大切な予防策のひとつである「十分な水分補給」を冬場も心がけていきたいものです。

～医務室～ インフルエンザの予防

インフルエンザは一度感染してもA型とB型があるため、同じ時期に2回感染してしまうことがあり、すでに感染してしまった人も安心してはいけません。

マスクの効果は、小さなウイルスを完全にブロックするわけではないので、予防よりも感染した人がつける方が効果的です。咳をすると飛ぶ瞬間の粒は水分を含んで大きいため、マスクでブロックされやすいからです。このような予防は感染している本人が気をつけることから「咳エチケット」と呼ばれています。また、マスクをつけている人は手で口や鼻を触れる機会が少なくなり、手を解した感染が起これにくくなることも期待できるのです。しかし、マスクを外してからすぐに口や鼻に触れてしまうと効果が無駄になってしまうため、マスクを取るときの手洗いを忘れないようにしましょう。

また、人が多く集まる場所から帰ったときなど、手洗いの効果が高いタイミングです。水道がないところでは、市販されているアルコール性の手指衛生剤も有効です。

加湿には、乾燥した環境の方がウイルスの感染性が高まるので、それを避ける目的と、鼻・口腔内・気道の粘膜の乾燥を防ぐ目的があります。粘膜が乾燥すると局所的な免疫が低下する可能性があり、加湿の予防効果は期待できます。日頃から体を休め、無理をせずに、この感染症の流行期を乗り越えていきましょう。



新人職員紹介

①出身地 ②自分を動物に例えると ③自己PR

外旭川デイサービスセンター 幸

〈看護職員〉永井 牧子

①五城目町 ②うなぎ
③私の取り柄は「よく寝ること」です。
良い睡眠を取ってより良い仕事ができるように努力していきます。よろしくお願いします。

〈介護職員〉山本 恵

①宮城県 ②カメ(ゆっくりでも確実に前へ進む)
③九月から入社しました。明るく!!元氣よく!!
ご利用者の「一日一笑」を目指して頑張ります。よろしくお願いします。

特別養護老人ホーム 幸楽園

〈介護職員〉佐藤 豪

①秋田市上新城 ②サル
③これまで培ってきた忍耐力と思いやりの精神で、ご利用者第一をモットーに幸楽園へ貢献致します。

〈介護職員〉安江 弘

①秋田市御野場 ②カニ
③ご利用者のために全力でがんばります。

幸楽園周辺の歴史散歩

①9

明治期のお正月模様

1 年の瀬は買い出しから

・降る雪や明治は遠くなりけり

これは久保田万太郎の句だが、大正の時代だってはや百年も昔になったので、当時の正月模様を振り返ってみることにする。正月の準備には、まず「年の瀬の市」に出掛けた。ここら新城・中村の人たちの行く先は港の町で、たいがい徒歩だった。中には馬に引かせた櫓でゆくものもいた。

買い出しにゆくお金は硬貨で、大財布という布袋に詰め背負って出掛ける。銭は真鍮の鑄造した重い硬貨で、円い形の真ん中に四角な穴が空いていた。この銭一個を一文と言ひ、今なら一円玉だろう。百個の百文に相当した硬貨の一枚が「当百」で、やや大きな楕円形だ。その真ん中にもやはり四角な穴が空いていた。人はその銭の穴に紐を通して繋ぎ、大財布に入れて行くのだった。

2 新品の桶で若水汲み

年の瀬の市で必ず買うものがあつた。若水を汲む新しい桶と柄杓だ。年が明ける元日の朝一番に清らかな水を汲む。これを「若水汲み」と言つて、正月行事として大事な習慣があつた。水汲みは新しい桶と柄杓で汲むのが習わしで、新品購入は欠かせない。

若水を汲むのは一家の主人と決まっていた。元日の空が灰かに明け始めると、桶と柄杓を手に、近くの泉か井戸に出掛ける。このときに履くのは、この日に備えて新しく編んだ藁靴だった。靴はその後、種蒔きするとき豊作祈願で履くので、若水の桶のかたわらに春まで大事に保管されていた。

新雪を踏んで水汲みに行く途中は、人に会つてはいけない。もしも偶然、誰かに出会つても、一切無言で通すことだ。この時、水汲みに唱える呪文がある。「あらたまの年の初めの年男、黄金の柄杓で水を汲む」合掌。

3 大正月と小正月

お正月には期間が二つある。前半、元旦から十五までが大正月で、後の十六日以降が小正月だ。主人は若水汲みを終えると初詣に向かった。帰るとこの若水でお茶を立て神仏に供えてから残った若水でご飯を炊いた。

小正月の十六日は、一日千秋の思いで待っている人がいた。若勢、メラシと言われた奉公人たちで、この日は旧盆の十四日以来、一日だけ休日になる。幼くして口減らしのため子守に出された小娘もいれば、水飲み百姓（自分の田圃が無い）出の下女や作男たちだ。この天下晴れての休日の一日は、慌しい日帰りだったが、それでも皆は嬉々として父母の待つ我が家に向かい、暮れ方、悄然として奉公先に帰るのだった。

在る程度、自由気ままな令和の今とは、まさに隔世の感がある。

（永田賢之助）



お誕生おめでとー

当職員に赤ちゃんが生まれました。

外旭川デイサービスセンター 幸

佐々木 久美子 〈看護職員〉

陽琉くん 令和元年六月二十八日生

ショートステイ幸楽園

浜田 慎也 〈短期入所課長〉

悠聖くん 令和二年二月十八日生

除雪機（ホイールローダー）購入

秋田の厳しい冬に備え、皆様が安全にご面会などで当施設へ訪れることができるよう、除雪機を購入しました。



編集後記

各事業所の設備等が古くなり補修を必要とすることが多い中、みんなで協力し合い、知恵を出し合い乗り越えています。勿論、幸楽園便りの発行も同じです。みんな頼りにしています。